

敦賀3・4号炉と日本原電に未来はない 敦賀3・4号炉の増設を阻止しよう

7月13日(土) 午後1時半から

「分散型電源と地域振興」 - 原発に未来はあるか? -

飯田哲也さんの講演会 福井意見美浜町 ハートピア 2F会議室

日本政府は、電力の安定供給、地球温暖化対策を盾に原発を強引にすすめようとしています。

電力自由化のもと、生き延びをかける電力会社は原発建設計画を次々と先延ばしする中で、日本原電による敦賀3・4号炉増設の動きが大きく浮上してきています。

敦賀3・4号増設は問題だらけ

福井県知事は、6月12日、敦賀3・4号炉の建設を受け入れると発表しました。

福井県民の「原発はこれ以上いりません」(2万人署名)の反対の声を踏みにじるものです。

私たちは、これまで福井県に対して公開の討論会を要求してきました。また、5月24日、日本原電に対して、「敦賀3・4号炉増設計画に関する再質問状」を提出しました。私たちは、あくまで増設阻止に向けてがんばります。

政府は、原発推進のための1次公開ヒアリングを2月に強行しましたが、3月28日には、日本原電は、敦賀3・4号炉計画の1年延期を発表しました。これは、建設を進めても、10年後に日本原電は存続しているの

か、電力会社が高い電気を買ってくれるのか、という深刻な問題を抱えているために出てきた先延ばしです。また、県も原発建設で地域経済が活性化するなんてことは考えてはならず、敦賀3・4号を取引材料にして、高速道路工事をあてにしているのです。

原発増設をめぐる、まだまだ問題が山積しています。

人員の大幅削減と

建設費の安上がりをめざす原電

世界最大規模(153.8万kw)の原発2基を建設しようとする日本原電は、なんと2010年度末までに社員の160人(割)を削減します。原発だけに頼る日本原電はますます経営が難しくなり、大幅なリストラを強行しているのです。原発重大事故の危険性はますます高まります。

また、敦賀3・4号炉の建設費(8300億円)も挑戦すべき目標として7600億円に削減するとしています。電力自由化の中、10年後、原発の生み出す高い電気を少しでも安くするには、建設費をさらに削減するしかないので、これでは、地元での工事受給は減られ、潤うことなどあり得ません。そして、いやがう

えにも原発の重大事故の危険性を高める方向へとすすむのです。

危険な原発にゴーサインを出す福井県知事

福島県佐藤知事は、最近の新聞報道で「ブルサマル計画において、国の将来のビジョンが不明確である。また、原発増設についてもこれ以上増設が必要なのか、国がいくら金をつぎ込んででも地域振興につながっていない」と、疑問を呈しています。

しかし、福井県栗田知事は、とうとう敦賀3・4号炉増設計画の受け入れを表明しました。政府に敦賀3・4号炉の増設を認めるかわりに、近畿自動車道小浜西 - 敦賀間の整備などを要求しているのです。総工費約4千億円で、地元も潤うと判断しているのです。

しかし、これも建設が済めば、経営赤字はわかっており、道路公団の民営化が推進される中で、果たして、うまく着工にこぎつけるか非常に微妙です。

ふげんと敦賀1号炉の廃炉、そして、敦賀3・4号炉建設で、福井の原発15基体制が維持されているかの宣伝がなされていますが、出力でいえば廃棄される原発出力の6倍と高く、基数は同じでも原発の事故の危険性は高まるのです。これでは、いつまでたっても福井は、原発から脱却できない自治体となってしまいます。

日本原電の原発発電コストは、明らかに高い

日本原電の販売電力単価を調べてみますと、2000年度では、10.3円/kwhです。火力と水力発電を持つだけの電源開発の販売単価を調べてみますと、火力の販売電力単価は、2000年度で7.2円/kwhとなっています。日本原電は原子力発電のみですから、原発の発電コストは、やはり高く、原発は火力に比べてみても安いなど、全くのウソ、デタラメなのです。

大型原発でなく、分散型電源が飛躍的な伸び

電力の自由化の動きの中、分散型電源が急速に普及し始めています。コジェネレーションシステムの導入は、産業用でも、家庭用でも年々飛躍的に増え続けています。

産業用では、ガスタービン発電が実用化され、マイクロガスタービンの開発が進んでいます。家庭用では、ガスエンジンも小型化し、今年度から発売が開始、燃料電池は実用化開発段階まで来ており、2005年にも発売が開始されます。今後ますます普及することは目に見えています。

大型の原発は、発電効率が悪く、時代遅れとなってきているのです。

敦賀3・4号炉の建設なんてとんでもない

日本の電力自由化、エネルギー政策で、まさに揺れ動いている発電のあり方、ますます高まる大型原発重大事故の危険性、地域活性化に寄与しない原発建設、日本原電そのものが存続の危機を迎えている今日、このような情勢をしっかりと見すえると、敦賀3・4号炉増設反対の運動はますます重要であり、有利な情勢を迎えています。

そのことを確かめるために、7月13日には、飯田さんを迎えて講演会を開きます。分散型電源の急速な普及状況を講演していただき、原発がいかに時代遅れとなっているかを考えたいと思います。敦賀原発増設反対の新聞折り込みを敦賀、美浜、三方などでおこないます。反対運動を粘り強く展開していきます。また、この講演会后、美浜で泊り自然の中で参加者と共に運動の交流を深めていきたいと思います。多くの方が美浜町へ集まるようにお願いします。新聞折り込みと講演会に約30万円の資金が必要です。より一層のご協力をお願いします。

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

6月28日(金) 午後5時半から

敦賀3・4号炉増設反対 日本原電との話し合い

日本原電株式会社 敦賀事務所(敦賀市本町2-9-16)

参加予定の方は、久保まで連絡を!

7月1日(月) 午後4時半から(予定)

MOX燃料返送反対 関西電力交渉

関電本社 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車

関電の方で調整中ですので、参加者は、久保まで連絡下さい。

7月13日(土) 午後1時半から

「分散型電源と地域振興」

---- 原発に未来はあるか? ----

講師 飯田 哲也さん

特別報告 原発に未来はあるか

福井県美浜町 ハートピア2F会議室

その後に交流会予定。「森と暮らすどんぐり倶楽部」美浜町新庄21-1-1  
美浜町の自然を見つめ、交流を深めよう くわしくは、久保まで

### 新聞折り込み基金にご協力を!

敦賀3・4号炉増設の動きが、あわただしくなっています。

しかし、10年後にも大型原発が稼働し、若狭の原発15基体制が維持されるなんてとんでもないです。敦賀3・4号炉をめぐる動きの矛盾を福井の人たちにも知ってもらうため、新聞折り込みをします。新聞折り込み基金にご協力をお願いします。

新聞折り込み 1口 500円 (何口でもよろしくをお願いします)

郵便口座 若狭ネット 00940-2-100687

ご連絡は、久保まで

### 編集後記

- ・ 地球に優しいエネルギー開発が叫ばれて、久しい。原発は、放射性物質や放射線の管理が難しい、もうあかん。ゴミ発電は、ダイオキシン問題があり、ダメ。エネルギー効率をとことん追求し、地球環境を徹底して守るべき新たな生き方を探らねばなりません。きよ子